PSQL v12 SP1 既知の問題 ー 一般リリース ー 2016 年 7 月

PSQL v12 Service Pack 1（build 12.10.067）には、リリース時に以下の既知の問題がありました。以前のリリースと比較して修正された不具合および機能強化については、エージーテック Web サイト で PSQL v12 修正履歴を参照してください。

また、PSQL v12 の今回のリリースや以前のリリースのリリース ノート 、および修正プログラムのリリース ノートをご覧になり、広範な修正や機能強化を確認されることをお勧めします。いくつかは、ここに記載されている問題に対処している可能性があります。

問題はそれぞれ、次の各見出しセクションに基づいてグループ分けされています。これらは日付の新しい順に記載されています。

- クライアント リクエスター / 通信
- ドキュメント
- 国際化
- インストール
- MicroKernel エンジン
- サービス
- SQL
- 各種ユーティリティ
- ActiveX
- ADO.NET
- Btrieve
- DTI
- DTO
- JCL
- JDBC
- OLEDB
- PDAC

クライアント リクエスター / 通信

追跡番号	説明
59491	PSQL 自動再接続（PARC）は NetBIOS プロトコルのみが設定されている場合、再接続しません。
57586	クライアントとサーバー間の通信セッションが無効な場合に、ステータス 170 が返されます。
57018	PCC は、［スペースを含むファイル/ ディレクトリ名］設定に "Windows 32 ビットのみ" と誤って示しています。

ドキュメント

追跡番号	説明
58262	Visual Basic プロジェクトに ActiveX コントロールを追加するための説明が適切ではありません。

国際化

追跡番号	説明
57338	DTI の PvModifyDatabase() 関数を使用して、データベースと小文字の非 ASCII 文字をバインドできません。

インストール

追跡番号	説明
PSQL-4122	DX 5.10 が PSQL v11 SP3 と共にインストールされている場合、PSQL にパッチを適用していないと PSQL v12 へアップグレードできません。 PSQL v11 SP3 と一緒に DX 5.10 がインストールされているときには、PSQL が最低でも 11.31.055（Update 14 以上）になるようにパッチが適用されていないと、その PSQL を PSQL v12 または PSQL v12 SP1 へアップグレードすることができません。 回避策：PSQL v12 または PSQL v12 SP1 のインストールを開始する前に、手動で PSQL v11 SP3 から 11.31.055（Update 14）以上へ更新してください。
PSQL-3916	Windows 10 における不具合のため、［スタート］メニュー＞［設定］＞［システム］＞［アプリと機能］で PSQL をアンインストールすることができません。これをしようとすると、「インストールのログファイルを開くときに、エラーが発生しました。指定されたログファイルの場所が存在し、書き込み可能であることを確認してください。」というエラーが返されます。 この事象は確認されており、Windows 10.0.14295（2016 年 3 月 25 日リリース）以降では発生しません。
PSQL-3035	OS X の場合、PSQL Server または Vx Server が DMG を使用してインストールされ、かつ、ファイアウォールが有効になっていると、インストール時に、MKDED が外部からのネットワーク接続を受け入れられるようにするかどうかを尋ねるダイアログが表示されます。［許可］をクリックすると、ファイアウォールが適切に設定されます。［拒否］をクリックした場合、外部からの接続を可能にするには、ファイアウォール設定を開き、それらの接続を手動で有効にする必要があります。
59717	v10 からのアップデート インストール後にアンインストールを行うと、いくつかのファイルが残ります。
59667	MFC.DLL/MFCU.DLL が PSQL インストールフォルダーから読み込まれるたびに、アプリケーションイベントログに "SideBySide" エラーが記録されますが、機能上の副作用はありません。Microsoft は http://social.msdn.microsoft.com/forums/ja-JP/vcgeneral/thread/3b69bdfc-a1cf-4af8-a2cc-d5c7ba362fdb でバグとして説明しています。MFC.DLL および MFCU.DLL が依存している "Microsoft.VC80.MFCLOC" のバージョンが、VS2005 SP1 に付属する MFC ロケール アセンブリの実際のバージョンの "8.0.50727.762" ではなく、バージョン "8.0.50608.0" であると間違って明示されます。
58626	Linux x64 クライアントのアンインストールは、.../psql/bin フォルダーを削除しません。
58427	Windows 7 で、128 バイトより長いインストール先パスを使用してカスタム インストールを行うと、MicroKernel がクラッシュします。
58420	サービスが開始された後、インストールのキャンセルロールバックを呼び出すと正しくロールバックしません。
58355	Vista 64 ビット上では、v10 SP1 の更新インストールに時間がかかります。
58102	PSQL サーバーのインストールは、以前のバージョンのカスタム構成された WGE サービスの実行を検出できません。
58045	PSQL のアンインストールは、システム上で保留になっている再起動をチェックしません。
58042	EclipRCP.cab ファイルが存在しないと、コマンドラインからの修復が失敗します。
56496	v9 から v12 へアップグレードを行うと、v9 用の環境変数がクリアされません。
56300	クライアントでは使用できない bdu コマンドラインユーティリティが、PSQL v12 Client によってインストールされます。
56018	インストールは、PDAC SDK をアンインストールするように要求しません。
55932	ハイコントラスト設定の場合、インストーラーのようこそ画面と完了画面のテキストが読みづらくなります。

追跡番号	説明
55692	PSQL アプリケーションおよびサービスは、Windows Vista 以降のシステムでは再起動マネージャーに登録されません。
55591	インストール後、インストール時に無効にした機能が［プログラムの追加と削除］または［プログラムのアンインストール］の［変更］オプションに表示されます。

MicroKernel エンジン

追跡番号	説明
56059	ブランク データ ページによって、クエリのパフォーマンスが低下します。 回避策：ファイルを最適化してブランク ページを削減または除去してください。
56363	Windows Vista または Windows 2008 で 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスすると、ステータス 85（ファイルはロックされている）になります。 2 つのアプリケーションが 2 つの異なるシンボリック リンクを使用してファイルにアクセスした場合、2 番目に開いたアプリケーションはステータス 85（ファイルロック）になります。たとえば、一方のアプリケーションが C:¥ProgramData¥Actian¥PSQL¥Demodata¥Class.mkd を開き、もう一方のアプリケーションが C:¥Users¥All Users¥Actian¥PSQL¥Demodata¥Class.mkd を開いた場合、データベース エンジンからステータス 85 が返されます。 回避策：ファイルを開いてアクセスする際、どちらにも同じパスを使用します。
58003	システムキー（インデックス 125）の B_GET_EQUAL オペレーションは、8 バイトしか渡されなくても、入力キー バッファーの 244 バイトをコピーします。他のインデックスではこの問題は発生しません。
58439	システムエラー 604.0.23（I/O エラー）はファイル名が記録されません。
58686	大きなシステムトランザクションで MicroKernel がハングします。 回避策：多数のより小さいトランザクションをコミットします。
58720	MKDE は、ファイルがバックアップ ソフトウェアによって読み取られているとき、ファイルを読み取り専用で開きます。
58906	ロールフォワードは、クライアントによって排他モードで開かれたファイルでエラー 88 で失敗します。
60786	Windows パフォーマンス モニターの［Waits on Page and Record Locks］カウンターで、レコードのロック数が正しくカウントされません。
61173	Windows パフォーマンス モニターの［Waits on File Locks］カウンターで、ファイルのロック数が正しくカウントされません。
61283	通信スレッド数が 256 より大きい数値に設定されていると、すべてのリモート通信が失敗します。

サービス

追跡番号	説明
55946	データ パスを 150 文字まで設定すると、PSQL サービスは開始できません。

SQL

追跡番号	説明
PSQL-4090	EXISTS または IN または ANY/ALL を使用した相関クエリでは誤った結果が生じます。
PSQL-4084	UTF-8 形式と DBEnc 形式が混在しているストアドプロシージャを実行すると、エンジンから エラー -5099 が返されます。
PSQL-4075	列名が UTF-8 形式であるときに、CP932 形式の列名を必要とするストアドプロシージャを呼び出そうとするとエンジンが応答を停止します。最初の呼び出しで、エンジンは列を見つけることができず、" 更新対象の列が、更新可能なカーソルと関連付けられたビュー内に現れません。" というエラーが返されます。2 番目の呼び出しで、エンジンは応答を停止します。
PSQL-3956	TOP 句を使った相関サブクエリは、誤った結果を返すことがあります。現在、この問題を解決するための修正プログラムが進行中です。
60361	あるデータベースに対する ALTER TABLE 操作が、別のデータベースの SELECT クエリに干渉します。
59543	ビューを保存すると、ユーザーによって指定された列名が失われます。
58630	MS Access 2007 から " レコードが大きすぎます " エラーが返る場合があります。
58404	データベースを削除して再作成する場合、以前に作成した DDF が存在していると、データベースの再作成が失敗する場合があります。
57385	SQLForeignKeys() は、ヌルポインターの不正使用に HY009 ではなく HY000 を返します。
57372	リレーショナルエンジンは国際的な文字を大文字に変換します。
57362	UTF8 データベースを ODBC 変換する際に空白の埋め込みが調整されません。
57345	SQL エンジンはインデックス定義を既存の Btrieve キーと一致させません。
57330	オーナーネームに 24 文字を超える値を設定すると、間違ったメッセージが返されます。
57216	データベースコードページ設定の変更は、すべての接続を閉じるまで有効になりません。
57076	異なるエンコードのクロスデータベースから引き出されたデータは破損しています。
56111	GRANT LOGIN クエリに 128 バイトを超えるパスワードを指定した場合、v2 メタデータを含んでいるデータベース（注意：v2 メタデータのパスワードの最大長は 128 バイトです）に対するユーザーの作成 / ログインは成功しますが、パスワードは 128 バイトに切り詰められて X$User システムテーブルに保存されます。
56108	Linux で 129 バイト以上のパスワードを持つユーザーを作成すると、エンジンがクラッシュします。
55807	DROP DATABASE はユーザーセッションを無効にします。別のデータベースへ切り替えようとしても失敗します。
55768	バウンドデータベースの保護は、既存のファイルを正確にスタンプしません。
54781	Print ステートメントを含むストアドプロシージャまたはその他の GUI ツール（ODBC テストなど）を PCC 内で実行すると、ツールがハングします。 回避策：PSQL リレーショナルエンジンのサービスプロパティを［デスクトップとの対話をサービスに許可］に変更します。このオプションは、サービスの［プロパティ］画面の［ログオン］ペインで設定できます。

各種ユーティリティ

追跡番号	説明
PSQL-2977	PSQL コマンド ライン ユーティリティを実行しようとすると、それらが見つからないとのエラーで実行に失敗します。これは、ユーティリティのコマンド プロンプト ウィンドウに対応するシステム環境変数が PSQL インストール時に更新されなかったことが原因です。 Microsoft では、サポート 情報記事 3166232 でこの Windows 10 における問題を次のように説明（英語）しています。 After you install a Windows Installer package that updates a system environment variable in Windows 10, you find that although the system environment variable is updated in the elevated Command Prompt window, it isn't updated in the standard Command Prompt window.（Windows 10 でシステム環境変数を更新する Windows インストーラー パッケージをインストール後、システム環境変数が管理者特権でのコマンド プロンプト ウィンドウでは更新されているが、標準コマンド プロンプト ウィンドウでは更新されていない。） 回避策：PSQL 12.10 のインストール後にログアウトしてからログインし直すか、または Windows 10 システムを再起動します。
61587	PCC は、PCOMPRESS、DATEPART、SOUNDEX などの、新しいPSQL のキーワードを強調表示しません。
61546	autoincrement フィールドがゼロの場合、ファイルをリビルドすると、最大行数が 1 加算されます。
60400	DDF Builder の［テーブルの確認］は、コレーティング シーケンスが設定されたテーブルに対してエラーを返します。
60108	TIMESTAMP および DATETIME の値 '1900-01-01' は、PCC では '0000-00-00 00:00:00.000' と表示されます。
59952	PCC のテーブルの編集の［SQL ビュー］では、CREATE INDEX ステートメントがキー順ではなくアルファベット順になっています。
59852	DDF Builder は、検出できないBtrieve ファイルを「SQL テーブル」に表示しません。
59539	Function Executor のオーナー ネームのクリアは、正しいオーナー ネームが提供されても " 不正なオーナー ネーム" メッセージを返すことがあります。 回避策：オーナー ネームを指定してファイルを開いてから、オーナー ネームをクリアしてください。
59131	Function Executor は RESET オペレーションを発行後、" 読み込み違反 " 例外が発生する場合があります。
59092	PCC 接続エンコードが「自動変換」になっている場合、Linux 上で許可される文字列の長さが間違って計算されます。
58938	PCC は、サポート プロトコルの設定を正確に反映しない場合があります。
58738	RBLDCLI は、クライアントからリモート ファイルを扱えません。
58611	DDF Builder の［テーブルの確認］は、LONGVARCHAR 列を警告と見なします。
58602	製品キーを認証解除するとき、CLI の License Administrator は誤った 7317 エラーを返す場合があります。
58545	XIOStats の "（CSV）ファイルを開く " のエラーメッセージは、日本語システム上でも英語で表示されます。
58543	エンコードを設定すると、PCC がクラッシュする場合があります。
58524	DDF Builder はディレクトリが存在しない場合、デフォルトのオプションまたは推奨されるオプションで新しいデータベースを作成できません。
58493	DDF Builder プラグインに関する署名情報の表示は、日本語システム上でも英語で表示されます。

追跡番号	説明
58379	PCC の［ファイルを開く］ダイアログ ボックスのファイルの種類が正しくありません。
58341	PCC は、記述が不十分なストアド プロシージャの実行によって導入された無限ループを停止できません。
58303	w64clilcadm はローカル エンジンが存在しない場合（client64 がインストールされている場合）、clilcadm と異なるメッセージを表示します。
58287	DDF Builder は SUSE 11 上でログ ファイルを開けません。
58268	CLI の License Administrator はユーザー名とパスワードなしで別のサーバーに接続できますが、GUI の License Administrator ではできません。
58237	clilcadm.exe からの呼び出しでエンジンが開始しません。
58197	トリガーで ORDER を指定すると、実行が無視される場合があります。
58173	DateTime のプレビューはミリ秒値を表示しません。
58171	bcfg の［最小の状態に戻す待ち時間］の範囲の説明が間違っています。
58150	PCC GUI は数値データ型の小数位の入力時、精度より入力範囲のみをチェックします。
57418	64 ビット Linux サーバーが Unix 認証であるとき、Windows クライアント の Monitor でユーザー情報などが文字化けしています。
57414	PCC で、セキュリティで保護されたデータベース内のテーブルのプロパティを表示させると、"20：セッションのセキュリティ エラー " が表示されます。
57390	PCC で行の追加後のグリッドのリフレッシュでエラーが発生します。
57343	DDF Builder を使用して Btrieve スキーマをリモート にインポート する際に問題が発生します。
57335	DDF Builder はデータベース チェック中に、オーナー ネームを持つテーブルのオーナー ネームを、キャンセル操作しても何度も要求します。
57334	butil @commandfile では引用符で囲まれたパスを正しく使用できません。
57310	SuSE 10.1 で、PCC は "line4: 5502 異常終了 " というメッセージにより終了します。これは SuSE 10.1 GTK コントロールで既知のシステムの問題です。
57271	DDF Builder を使用してリモート マシンから Btrieve スキーマをエクスポート することができません。 回避策：ローカルでスキーマをエクスポートします。
57265	Linux サーバーにアクセスするリモート の Windows DDF Builder は、エクステンション ファイルを持つ大きなファイルを表示できません。
57257	グリッドにデータを読み込む際に表示される進行状況ダイアログでは［キャンセル］ボタンが使用できません。
57255	Windows DDF Builder はリモート Linux サーバー上の 5x ファイルを認識しません。
57230	PCC でビューを作成した直後にはそのビューを実行できません。
57210	Linux では、PCC の［すべての SQL ステートメントを実行する］へのホット キー F10 は機能しません。
57111	DDF Builder は demodata に対して Btrieve スキーマをリモート にインポートしません。
57093	テーブル定義エディターのヘルプ リンクはエラー ダイアログを表示します。

追跡番号	説明
57088	DDF Builder は、1 つの複数セグメント キーを持つファイルで定義を作成しようとしてもエラーを表示しません。
57077	DDF Builder は GUID のプレビュー値を表示しません。
57070	仮想環境で DDF Builder を使用すると、SQL インデックスのペインが非常に小さく、ほとんど見えません。
57056	Btrieve ファイル/キー仕様の作成ページはスクロールしません。
56878	PCC でいったん照合順序（コレーティング シーケンス）を指定すると、削除することができません。
56857	Linux 上の PCC で 1 つの列を選択すると、グリッドは列のデータの幅ではなくグリッド全体のスペースを使用します。
56855	ログイン名 "Master" が Linux 上の PCC では Windows のように表示されません。
56842	CNVDDF.exe はステータス 357 を返して辞書を変換しません。
56779	PCC は、Linux 上の FedoraCore8 で新規テーブルの追加時にクラッシュします。 これは、Sun の JRE における既知のバグに起因します。 回避策：次のコマンドを使用していくつかの機能をオフにします。 `sed -i 's/XINERAMA/FAKEEXTN/g' $JAVA_HOME/lib/i386/xawt/libmawt.so`
56681	64 ビット Linux で DDF Builder プラグインを起動すると内部エラーになります。
56634	DDF Builder はセグメントがオーバーラップしているファイルに不正な定義を作成します。
56633	DDF Builder では 119 を超えるインデックスを持つファイルを保存することができません。
56490	Rebuild GUI ユーティリティのキャンセルが機能しません。
56051	PCC で、保護されたデータベースの［バウンド］プロパティを設定すると、一般エラーが発生します。
55960	DDF Builder は、別のプロセスがエクスクルーシブ モードで開いたままのファイルを開こうとするときにエラーを受け取ります。 回避策：別のプロセスがファイルをエクスクルーシブ モードで開いていないことを確認します。
55396	PSA の " ロード済み PSQL モジュールを表示する " 機能は 64 ビット PSQL コンポーネントをリストしません。
55321	PCC のグリッドは非常に多くのフィールドを持つテーブルを表示できません。 回避策：ビューまたは SELECT ステートメントを使用して、グリッドに表示するフィールド数を制限します。
54990	VNC（仮想ネットワーク コンピューティング）セッションで PCC のいくつかの構成設定が失われます。 回避策：データベース エンジンを構成するには、そのエンジンのコンソールで PCC を直接使用するか、VNC 以外のリモート デスクトップ ルールを使用します。
54785	BDU ユーティリティは、セキュリティで保護されたデータベースのパスワードが 111 文字を超える場合には失敗します。

追跡番号	説明
54446	DDF Builder では ISR（インターナショ ナルソート 規則）を使用するファイルのテーブル定義の作成ができません。DDF Builder は現在警告を出しません。 データ ファイルが ISR を使用しているかどうかを判定するには： キーに ACS フラグの 1 つがある場合は、その ACS の 265 バイト を調べます。 シグネチャ バイト が 0xAC の場合は、ユーザー定義 ACS です。 シグネチャ バイト が 0xAD の場合は、ロケール固有の ACS です。 シグネチャ バイト が 0xAE の場合は、ISR です。
54434	PCC SQL Editor のテキスト モードは、1 つのビューの詳細しか表示しません。

ソフト ウェ ア開発キット （SDK）

ActiveX

追跡番号	説明
53785	ActiveX は DateTime データ型を サポート しません。
53784	ActiveX は GUID/UNIQUEIDENTIFIER データ型を サポート しません。
53378	ActiveX は BigInt 値の全部の範囲を サポート しません。
53342	ActiveX コント ロールは LONGVARCHAR 型フィールドを更新しません。既存のデータを読み取り、フィールドの変更や、更新 / 挿入を行うと ステータスは成功を返しますが、フィールドは変更されていません。
52379	DdfPath、Location および Join ボタンはキーボードからは操作できません。
52378	リ モート ホスト の接続および切断の後でも、VAccess プロパティは前に接続していたデータベースのテーブル名と 選択したフィールドを表示します。

ADO.NET

追跡番号	説明
61748	ADO.NET プロバイダーでは、タイムスタンプ値を アプリケーション で明示的に設定しないのであれば、初期化する必要があります。
61747	ADO.NET をトレースするように環境変数を設定しても、ドキュメント に記載されているように動作しません。
61746	PsqlCommand の IsLNASP プロパティはパブリックと 記述されていますが、プライベート でなければなりません。

Btrieve

追跡番号	説明
59783	Btrieve オペレーション で URI に @ 文字がない場合、Windows と Linux で異なるステータス コードが返されます。

DTI

追跡番号	説明
55423	PvCopyDatabase() は、参照整合性（RI）が設定されているデータベースでは RI レベルに関係なく機能しません。PvCopyDatabase API は RI 制約を持つテーブルを適切にコピーできません。コピーされた RI 制約を持つテーブルは、開こうとするとステータス 73 を返します。

DTO

追跡番号	説明
52548	DTO は以下の機能を持ちません。PvGetTableStat()、データベースの Btrieve セキュリティ ポリシーを示すデータベース フラグ（P_DBFLAG_DBSEC_AUTHENTICATION、P_DBFLAG_DBSEC_AUTHORIZATION）。
52548	オブジェクト ブラウザーに DtoSession.Property（dtoAccessRights）、DtoSession.Property（dtoConnectionType）、DtoLicenseMgr.Licenses コレクションが表示されますが、本リリースでは実装されていません。

JCL

追跡番号	説明
61583	JCL は、DTI とセキュリティで保護されたデータベースに対して同じ資格情報を使用します。そのため、接続時に失敗し、ステータス コード 20 を返すことがよくあります。
58323	JCL SDK パッケージに PVIDEODB の dbbackup フォルダーと中身がありません。

JDBC

追跡番号	説明
57926	ESC 179802：JDBC は DATE、TIME、および TIMESTAMP を、期待される java.sql.Types 91、92、93 ではなく java.sql.Types 9、10、および 11 として返します。
56564	64 ビット バージョンの JRE で JDBC を使用すると、例外が返されます。

OLEDB

追跡番号	説明
58146	PSQL OLEDB を使用する .NET アプリケーションの実行中にメモリ リークが発生します。
55994	PSQL OLEDB プロバイダーは " 混合 " モード セキュリティが設定されたデータベースでは動作しません。 回避策：MSDASQL プロバイダーを使用してください。

PDAC

追跡番号	説明
59437	PDAC の PvTable は、v2 メタデータを使用するテーブルをリスト すると、ステータス 12 を返します。
57363	PDAC は BIGINT データ型をサポートしません。 BIGINT データ型は 8 バイトの整数です。PDAC は BIGINT を SQL_DECIMAL にマップして、SQL_C_CHAR 型としてデータを操作します。
48812	DefaultDB にセキュリティが設定されていると、PDAC はデータベースに接続できません。